

海外安全対策情報（平成28年度第3四半期（10月～12月））

在ベトナム日本国大使館

1 社会・治安情勢

- (1) 国家の統治及び社会秩序を不安定にするような暴動，テロ，大規模なデモなどの発生は確認されていない。殺人，強盗，麻薬の密輸，人身売買事案など重大凶悪事件の発生や検挙は当地マスコミ媒体などにより日々報道されている。在留邦人や邦人旅行者からは，スリや置引き，空き巣，忍込みなどの犯罪被害（主に窃盗）が当館に報告されており，一般治安状況については十分な注意を要する。
- (2) 当地の対日感情を損なう情報には特段接していない。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) ハノイ市統計局ホームページに掲載されている記事から本年上半期のハノイ市における犯罪発生状況，検挙状況等を抜粋したもの。（平成28年1月～12月実績）
※刑法犯，薬物犯関係の前年同期比は，同局ホームページに記載されたものの抜粋であり，交通事故関係の前年同期比については，平成27年発表の事故発生数などを元に算出。

【刑法犯関係】

- ア 刑法犯発生件数：4,755件（前年同期比－7.6%）
イ 刑法犯検挙件数：3,759件（前年同期比－6.9%）
ウ 刑法犯検挙人員：5,496人（前年同期比－1.9%）

【薬物犯罪関係】

- ア 薬物犯罪検挙件数：2,403件（前年同期比＋6.2%）
イ 薬物犯罪検挙人員：2,818人（前年同期比＋5.8%）

【交通事故関係】

- ア 事故発生件数：1,552件（前年同期比－7.6%）
イ 事故死亡者数：594人（前年同期比－2.3%）
ウ 事故負傷者数：1,306人（前年同期比－8.5%）

(2) 邦人被害事案

- ア 10月下旬，ハノイ市内旧市街地において，在留邦人がマーケットで買い物中に所持していたバッグを刃物で切られ，バッグ内から財布などを盗まれる窃盗（スリ）被害が発生している。
- イ 11月中旬，ハノイ市内バーディン区のデパートにおいて，邦人旅行者が買い物中に所持していたバッグから財布を盗まれる窃盗（置引き）被害が発生している。
- ウ 11月中旬，ハノイ市内バーディン区の在留邦人方において，自宅のスーツケース内から封筒在中の現金を盗まれる窃盗（空き巣）被害が発生している。
- エ 12月上旬，ハノイ市内ホアンキエム区周辺で，在留邦人がタクシーに乗車した際，運転手からいきなり襲われそうになったため，車外に逃げるといふ暴行未遂被害が発生している。

オ 12月上旬、ハノイ市内バーディン区の物産展会場において、在留邦人が所持していたバッグから財布を盗まれる窃盗（スリ）事件が発生している。

カ 11月から12月にかけて、ハノイ市内バーディン区ダオタン通り、リンラン通りなどにおいて、在留邦人や邦人旅行者がベトナム人女性に突然抱きつかれた間に着衣のポケットから財布やスマートフォンを盗まれる窃盗（スリ）被害が数件発生している。

（3）邦人以外の被害事案

ア 11月中、ベトナム航空機内で外国人乗客による窃盗が多発（14件）しており、特にダナン国際空港では中国人乗客による窃盗5件を検挙している。中国人窃盗犯がベトナム航空の国内線及び国際線で暗躍していることからベトナム航空では窃盗犯への警戒を強めている。

イ 国家交通安全委員会によると、2016年の1年間、ベトナム全国で発生した交通事故件数は、2万1,589件（前年同期比-1,261件）で、死者数は8,685人（前年同期比-43人）、負傷者数は1万9,280人（前年同期比-1,792人）であった。

3 テロ・爆弾事件発生状況

テロの発生については認知していない。

爆弾事件については、10月3日クアンニン省国道において、指名手配中であったベトナム人男性が乗車していたタクシーの車内において、所持していた爆弾を爆発させて、同人及び運転手が死亡するという事件が発生している。警察は、同人方を捜索し、爆弾の製造に用いたと思われる材料を発見・押収するとともに同人の遺書なども押収したと発表している。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人の誘拐・脅迫事件の発生は認知していない。

なお、当地報道によればベトナム人が被害となる誘拐・脅迫事件は発生している。

5 日本企業の安全に係わる諸問題

日本企業に対する事件やストライキの発生件数（当館把握数）は0件であった。

なお、当地報道によれば当地報道によれば他国の企業に対するストライキなどの労使紛争は発生している。